

芦屋市立美術博物館
平成26年度 展覧会予定

* 展覧会名は変更する可能性があります。

上期

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
歴史資料展示室	世界を魅了したやまとなでしこー浮世絵美人帖ー			芦屋の歴史と文化財			
期間・日数				7/5-11/30			
第1展示室				GUTAI×INTERNATIONAL ー具体、海を渡るー		art trip vol.1 窓の外、恋の旅	
第2展示室							
期間・日数				3/30-6/15(前期3/30-5/11,後期5/13-6/15)			7/5-9/7

下期

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
歴史資料展示室	芦屋の歴史と文化財		昔の暮らしーみんな昔はこどもだったー			
期間・日数	7/5-11/30		12/13-3/1			
第1展示室	art trip vol.1 窓の外、恋の旅		土器どき芦屋の物語 ー遺跡が語る芦屋の歴史ー		第32回芦屋市造形教育展	
第2展示室						
期間・日数	9/27-11/30		12/13-2/8		2/21-3/1	

芦屋市立美術博物館 平成26年度 展覧会動員実績

H. 26	展覧会	日程	動員数	累計
1	世界を魅了したやまとなでしこー浮世絵美人帖	3/30-6/15	7,767	7,767
2	具体、海を渡る。	7/5-9/7	4,481	12,248
3	窓の外、恋の旅。	9/27-11/30	5,895	18,143
4	土器どき芦屋の物語	12/13-2/8	239	18,195
5	第32回芦屋市造形教育展	2/21-3/1		
6	芦屋の歴史と文化財（同時開催）		0	
7	昔の暮らしーみんな昔は子どもだった(同時開催)		0	
	合計		18,382	

平成26年度入館者数 内訳 芦屋市立美術博物館

		26年度	26年度	26年度	26年度	26年度	26年度	26年度	26年度	26年度	26年度	26年度	26年度	26年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間集計
個人	一般	431	712	312	313	587	258	380	461					3,454
	高齢者	385	646	231	92	128	90	184	112					1,868
	障害者	40	81	74	23	30	17	31	21					317
	大学生・高校生	9	23	28	26	54	27	44	80					291
	高、大(障がい)	2	1		1	2		1						7
	小計	867	1,463	645	455	801	392	640	674	0	0	0	0	5,937
団体	一般	27	52	25	25	35	11	26	54					255
	大学生・高校生					14	1							
	小計	27	52	25	25	49	12	26	54	0	0	0	0	255
有料観覧者合計		894	1,515	670	480	850	404	666	728	0	0	0	0	6,192
無料観覧	招待者	178	249	307	164	140	200	211	1,004					2,453
	団体引率者	8	3	1	9	4	2	3	5					35
	小・中学生	121	102	26	131	278	20	35	15					728
	小学生未満	10	17	14	7	22	6	18	115					209
無料観覧者合計		317	371	348	311	444	228	267	1,139	0	0	0	0	3,425
その他		2,872	577	325	577	1,075	470	2,114	551	52				8,613
計		4,083	2,463	1,343	1,368	2,369	1,102	3,047	2,418	52	0	0	0	18,245

* 招待者数には、9/5(金)、9月6日(土) 老人福祉月間で、24名、11/15(土)、11/16(日) 614名 関西文化の日 合計614名を含む。計 638名

* 11月の小学生未満 11/19(水) 伊勢幼稚園との連携 95名

* その他の欄 ⇒ 講義室、体験学習室、前庭利用者、アートバザール 4/26(土)1,170名、4/27(日) 1,058名、10/4(土)1,123名等

平成 26 年度 芦屋市立美術博物館 事業一覧

種類	名称	内容	日時	人数
G.T	「世界を魅了したやまとなでしこー浮世絵美人帖」 ○学芸員によるギャラリートーク	解説：当館学芸員	4/19	23
			5/3	19
			5/24	25
			6/7	32
			6/14	17
その他	○「アートバザール」	当館職員	4/26	1170
			4/27	1058
講演会	○講演会「美人画ツアー江戸時代美術の粋ー片岡家所蔵浮世絵のご紹介」	解説：当館学芸員	4/27	37
W.S	○ワークショップ「伝統文化こども能楽体験教室」	講師：長山禮三郎 他	5/6	39
講演会	○講演会「上方浮世絵の歴史と特徴」	解説：北川博子（阪急文化財団）	5/11	32
W.S	○ワークショップ「やってみよう！紙版画」	講師：当館学芸員	6/1	21
びはくルーム	○講演会「松谷さんと堀尾さんとあそぼう」	講師：松谷武判（美術家） 講師：堀尾貞治（美術家）	4/6	68
その他	美博寄席	落語家：林家染左、桂雀五郎 笑福亭呂好	4/26	150
講演会	「具体、海を渡る。」 ○「パフォーマンス」	講師：堀尾貞治（美術家）	7/5	62
W.S	○ワークショップ「バック・トゥ・ザ・野外展」散策	講師：河崎晃一（甲南女子大学教授）	7/27	16
W.S	○ワークショップ「あたりまえのこと」	講師：堀尾貞治（美術家）	8/2	30
			8/9	30
講演会	○講演会「グタイ トーク サーフィン」	講師：向井修二（美術家）	8/10	30
G.T	○学芸員によるギャラリートーク	解説：当館学芸員	7/12	17
			8/30	
その他	○ミュージアムコンサート	出演：林里奈、Modern Classic Ensemble	7/19	127

びはく ルーム	○「気持ちの形」	講師：山村幸則	6/22	20
講座	○「古文書講座」	講師：当館学芸員	7/13	15
その他	ミュージアムコンサート		7/19	127
講座	○講座「先生のためのミュージアム活用術」	講師：堀尾貞治	7/20	20
びはく ルーム	○「ザ・庭シャツ」	講師：築山有城	8/3	60
W.S	○ワークショップ「土器DOKI」	講師：当館学芸員	8/23	5
その他	○夏祭り	当館スタッフ	8/23	566
びはく ルーム	○切り紙遊び一個性の発見	講師：柴田精一	8/24	38
講座	○古文書講座	講師：当館学芸員	9/7	34
その他	○「ミュージアムコンサート」	出演：前田伊都子, Modern Classic Ensemble	9/7	60
関連	「窓の外、恋の旅。」ー風景と表現 ○オープニングイベント 映像と音楽によるライブ	出演：林勇気（映像作家）、polarM(音楽家)、米子匡彦（音楽家）	9/27	93
講演	○トークイベント「谷川俊太郎さんの朗読と話」	講師：谷川俊太郎（詩人）	10/4	115
W.S	○町歩き「作者と巡る風景」	講師：ヤマガミユキヒロ（美術家）	10/25	11
W.S	○ワークショップ「展覧会の風景」	講師：中次悦子（造形作家）	10/26	14
講演	○「アーティストトーク」	講師：林勇気（映像作家）	11/9	12
講演	○「アーティストトーク」	講師：ヤマガミユキヒロ（美術家）	11/16	50
講演	○「アーティストトーク」	講師：下道基行	11/23	23
G.T	○学芸員によるギャラリートーク	解説：当館学芸員	10/11 11/1	10 6
その他	○「アートバザール」	当館職員	10/4	1008
その他	○「だんじり」	だんじりの会	10/11	302
びはく	○「びはくルーム アートのお	講師：池上司（西宮市大谷美術	10/12	30

ルーム	仕事」	館) 他 5 名		
講座	○「古文書講座」	講師：当館学芸員	10/18	20
びはく ルーム	○「タバを楽しむトーク」	講師：藤本由起夫	10/19	23
その他	○ミュージアムコンサート」		11/2	44
講座	○古文書講座	講師：当館学芸員	11/2	16

2014年度 芦屋市立美術博物館 教育普及プログラム

芦屋市立美術博物館

アートスタディープログラム

「Bihaku Room / びはく ルーム」

2014年度より新たな教育プログラムを実施する。

これまで展覧会に関連したイベントを多数開催してきたが、今回のプログラムでは、「美術や美術館を楽しみ、より身近なものへと感じていただく」ため、展覧会内容に特化せず様々な内容のプログラムを予定。こどもから大人まで幅広い年齢層の参加を想定し、どなたでも楽しみながら学べる内容を企画、講師には現在活躍する美術家や大学教授などを招き、当館ならではのレクチャーやワークショップを実施していく。

今回のプログラムを通じて、活動過程の中から美術を学び発見する面白さ・楽しさ・難しさといった体験から、自己の既成概念を超えて様々な事柄を感じ、考える力を一層強め、より豊かな生活への第一歩としていただけるよう努めたい。

また、今回のプログラムにより、当館の周知を図るとともに、これまで足を運ばなかった来館者層の拡充及びファン層の獲得を目標とし、スタンプカードを発行し、スタンプを集めた方には抽選でオリジナルグッズをプレゼントする他、カード提示により開催中の展覧会を団体料金で鑑賞できるものとし、美術館活動に参加する楽しみを演出する試みも併せて行う。

1. 実施時期 偶数月
2. 会場 当館体験学習室、講義室、前庭など。
3. 参加費 無料 但し要材料費
4. 主催 芦屋市立美術博物館

芦屋市立美術博物館

Bihaku Room / びはくルーム

日程	ワークショップ	内容	講師	人数
4/6(日)	松谷さんと堀尾さんとあそぼう トーク「まっちゃんとホリオのよもやま話」+ワークショップ「あたりまえのこと(芦屋市立美術博物館の象さん)」	具体時代から現在まで、おふたりから、いろいろなお話をお聞きます。その後ワークショップでは、当館に「象さん」が出現。みなさんと一緒に春のお花を咲かせます。	松谷武判(美術家)・堀尾貞治(美術家)	68
6/22(日)	気持ちのカタチ 芦屋散策～即興絵葉書の製作と投函	芦屋市内を散策しながら、その場その時の風景や思いをつづった絵葉書を製作し、みなさんの思いを人に送ります。	山村幸則(美術家)	20
8月3日(日)	ザ・庭シャツ～自分で作ったTシャツを着て庭で遊ぼう!	マスキングテープで好きな形を作って布用インクでTシャツにスタンプします。みんなでTシャツを着て遊びます。	築山有城(彫刻家)	60
8月24日(日)	切り紙遊び～個性の発見!	色紙を切って模様をつくり、重ねてもっと良い模様をつくれます。最後は、出来上がった作品に名前をつけて遊びます。	柴田精一(美術館)	38
10月12日(日)	座談会「アートのお仕事」	関西のアート事情について・美術を楽しむためのヒントについて、座談会風に。	池上司(西宮市大谷美術館) 伊藤まゆみ(神戸アートギャラリービレッジセンター)大場美和(アートコートギャラリー) 神谷千晶(神戸新聞記者) クリストファー・スティブンス(翻訳家・ライター) 後藤哲也(000プロジェクト)	30
10月19日(日)	夕べを楽しむトーク	秋の夕暮れに、アートのお話。	藤本由起夫(アーティスト)	23
12月14日(日)	Paper lovers-クリスマスに紙をそえる	紙で遊ぶ。クリスマスのオーナメントやクリスマスカードなど。その後参加者の皆さんと一緒にクリスマス茶話会を実施予定。	かなもりゆうこ(美術家)	
2月・3月	準備中			

展覧会	日程	担当	日数	内容
第63回 芦屋市展	4/4(土)ー5/10(日)	國井	32	1948年に第1回展が開催されて以来、本展は今年で63回目となります。本年多くの方々に親しみを持っていただける公募展を目指します。
阪神沿線の文化110年	5/23(土)ー8/2(日)	大槻・藤井	62	阪神地域は、東に大阪、西に神戸という大都市が位置しています。その背後に六甲山、目の前には大阪湾が広がる風光明媚な土地柄としても知られています。戦前から沿線開発やレジャーランドの開設などモダンな気風が根付き、開放的で進取の気性に富んだ街・人・文化を生み出しました。このような阪神間の歴史と文化を生んだ背景には、阪神電鉄の沿線開発に負うところが大きいといえます。その阪神沿線に位置する尼崎市総合文化センター、芦屋市立美術博物館、芦屋市谷崎潤一郎記念館、西宮市大谷記念美術館、西宮市立郷土資料館、白鹿記念酒造博物館、BBプラザ美術館が連携し、更に阪神電気鉄道株式会社にも全面的なご協力を得て、阪神沿線の歴史や都市環境、文学、演劇、大衆文化、音楽、美術などの関連資料を展示し、個性ある阪神間の魅力を紹介いたします。本展が、阪神沿線の歴史文化の110年の軌跡を検証し、21世紀の快適な都市環境を創る上で、阪神沿線の今後の可能性を考える機会になればと考えます。
イケメンパラダイスー浮世絵のなかの美男・美女(仮)	8/12(水)ー11/15(土)	藤井	83	偶像のように理想化された人物像は洋の東西を問わず、またいつの時代にも絵画化されています。中でも江戸時代美術を代表する浮世絵版画には当時の人々が好んだ風貌の人物が数多く描かれ、庶民的階層から貴族やその姫君にいたるまで幅広い人物像が盛り込まれています。歌舞伎役者や町の美女たちが描かれた役者絵、美人画はまさに当世の美意識が繁栄された結晶です。さらに可視的な美しさのみならず、江戸時代ならではの"美学"を浮世絵から読み解くことができます。当館では、昨年片岡家所蔵浮世絵の美人画約120点を展覧しましたが、本年度は、特に役者絵や武者絵も併せて展覧することで当時の人々によって理想化された人物像に迫ります。
戦後のポーダレス/前衛陶芸の貌(仮)	11/28(土)ー2/14(日)	國井	69	戦後の前衛陶芸界には、絵画、彫刻、いけばななど他ジャンルとの交流、そして海外との関わりも生まれ、外からの新しい情報と刺激が日常的にもたらされました。本展は陶芸界のとどまらない多数な交流の分析を加え、前衛陶芸の深化の過程に迫ろうというものです。その分析は、前衛陶芸が国内外お芸術家たち、ひいては芸術界に与えたインパクトを知ることにも繋がるでしょう。前衛陶芸の立場から、戦後の表現を探ります。
造形教育展	2/ -	藤井		市内の幼稚園・小学校・中学校生徒の作品を全館にわたり展示します。

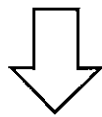
1. 2015 春 「アートバザール」 ⇒ 「ART MARKET あしや つくる場」へ 企画案

年に 2 回開催しているアート・バザールですが、イベント自体がマンネリ化しており客数も減少しております。そこで、イベントのイメージチェンジを図り客層の幅を広げもっと多くの方々に楽しんでもらえるものになりたいと考えております。

イベントタイトルの「つくる場」には、誰かがつくったモノを見たり、自分自身で何かをつくる場として、ちょっと特別な時間をすごして頂けるイベントにしたいという思いを込めました。

■現状

- ・これまでのアート・バザールでは出店者の年齢層が比較的高めで、買い物客も知り合いの方なので、発表会のような場になっていた。
- ・客層の幅に広がりが無い。
- ・出店者と買い物客、両者の満足度が低い。



〈 イメージチェンジ 〉

- ・若い世代のお客様の来場に繋げる。
- ・ファミリー層を取り込むことで、大人も子どもも楽しめる美術博物館というイメージを広める。
- ・芦屋市立美術博物館に普段来る機会の少ない方に足を運んでもらう。
- ・楽しい思い出として、心に残るイベントにする。
- ・来場者数を増やし、発展性のあるイベントにする。

■キーワード

つくる / こども / 家族 / お庭でのんびり / わくわく感 / みんなで楽しむ / とくべつな思い出 /

【イメージチェンジ内容】

① ビジュアルを変える / イベント名を変える

- ・【確定】メインビジュアル担当：鈴木裕之さん（イラストレーター）
※12月6日に打ち合わせ
- ・会場の飾り付けを行う
→「イベントに来た」という雰囲気を感じられる空間に
→庭に木の飾り付け、入口ゲートの作成（アルバイトさん or ボランティアの方にご協力頂く）

② イベントを行う

- 出店者には、前年度までのイベント同様、手作りのものを出品していただく。
また、美術博物館で開催という特色を活かすために参加型のアートイベントを実施予定。
- 主にこどもが楽しめる内容
 - 近隣の幼稚園児にも来てもらう（伊勢幼稚園など）
 - 制作した作品を終了後も展示することで、来館者数をアップさせる

③ 食べ物販売の種類を増やす。

- ・「ルポ」とのすみ分け（交渉済）

2. 「びはくルーム」の充実

3. 「古文書講座」の継続